

# 宗岡中だより



10月号 令和2年10月1日(木)  
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

## 「体育祭 骨身奮わせ 歓喜湧く」

校長 佐藤哲浩

9月中旬まで続いた猛暑日、真夏日も下旬になるにつれ、気温が下がり秋らしくなってきました。そして夜耳を澄ませば、コオロギの翅を擦る音が聞こえてきます。本来はスポーツや文化的イベントを開催するには適した季節ですが、今年は新型コロナウイルス感染防止のために、未だ数多くの制限があり、大会や学校行事を例年通りに開催できないのは本当に残念です。

一方、秋になると心配なのが台風による災害。過日、九州地方に上陸した台風10号は強烈な台風と言われながら死者が少なかったのは、台風が本土に直撃しなかったことに加え、気象庁が1週間前から災害予報と避難警報を出していたためと言われています。避難民は家を防護し、この際Go to travelも利用して、自宅から離れ県外に旅行をした家族も多かったそうです。これを教訓に、今後大型の台風が上陸する可能性が高い時は、気象庁には早めに災害予報を提供して欲しいと思います。



話は変わって、9月16日に第46回体育祭が開催されました。今年度の体育祭は新型コロナウイルス感染防止のために、競技種目の削減、無観客開催、さらには競技以外の時は極力マスクを着用するという、かなり制限された中での開催でした。保護者・地域住民の皆様には主旨をご理解いただき、誠にありがとうございます。今年度のスローガンは、「奮骨彩心 ～心の距離0cm～」、どのクラスも骨身を奮わせ、精一杯取り組んでいました。1年生は初々しく学年種目、リレー、大縄跳びの団体種目に一生懸命に取り組んでいました。2年生は学級対抗リレー、大縄跳びでこの1年間の成長を感じました。3年生は最上級生らしく、学年種目、スウェーデンリレー、大縄跳び、どれも迫力がありとても見応えがありました。その中でも特に素晴らしかったのが大縄跳び、私が宗岡中の体育祭を経験してきた中で、初めて2年生が200回越え、3年生が300回越えを達成したのです。ロープが波打たず息の合った回し手の上手さ、それに応え跳び続けるクラスメート、年々大縄跳びの技術が進化していると感じています。

私は、日本の運動会や体育祭は、世界に誇れる素晴らしい教育文化の一つであると考えています。なぜなら、世界の小中学校が行っている「Sports Day」は、競技性の高いものであり、日本のように運動会(組体操、ダンス)や体育祭(学年種目、大縄跳び)で保護者、地域住民を巻き込んで楽しませるといった要素が少ないからです。そんな素晴らしい体育祭をこれからも継承していきたいと考えています。